

Lighting Time



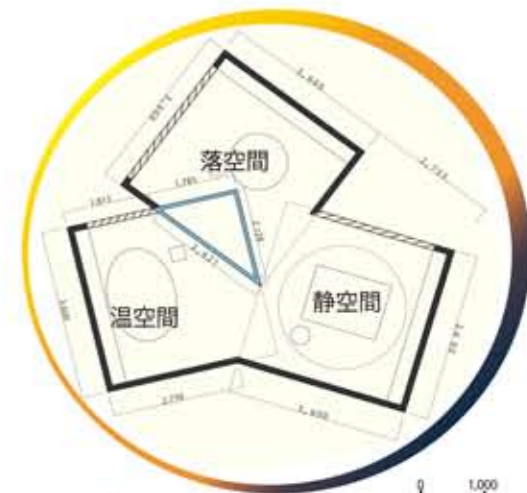
照明が居場所を決める黄昏空間

この空間に時計はない。

時間を表すのは Lighting Wall の光のラインである。時間の流れとともに、Lighting Wall を光が移動しながら照らしていく。時計周りに動く光に合わせて、自分の居場所も移動する。光が照らすところ、光を求めて移動していく。

それぞれの空間にルーバーから入ってくる風が外の香りを連れてきてくれ、光に包まれた優しい空間の出来上がり。

部屋の中心の木は上からのルーバーを通した自然光を浴び、伸び伸び成長していく。成長の分だけ日の流れ、季節の流れを感じる。時計はなくても時の流れを感じられる自分だけの黄昏空間である。

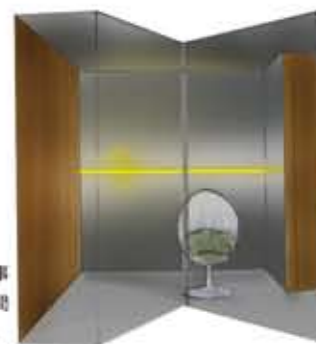


Plan

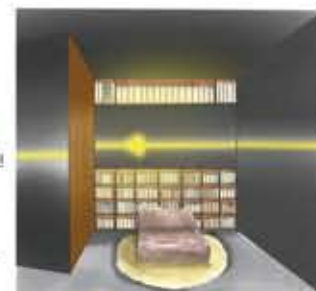
3つのキューブを斜めに食い込むようにつなげて円を描くような平面に。中心の三角の空間は中庭を。3つの空間が黄昏をサポートしてくれる。

光のながれ

Lighting Wall を時計周りに。



コーヒーを飲みながら考え事にふける時間。何もない空間に葉の揺れる音が響く空間。



コーヒーを飲んだ後は読書。眠いなと思ってお昼寝。自由に時間を過ごす静かな空間。



ゆったり湯舟に浸かりながら体の疲れをとる。心身ともに温められる温空間。